



『パンプキンと魔女の10月』



いよいよ10月ですね！この時期になると、小学生時代の懐かしいハロウィーンの思い出が心に浮かんで来ます。近所のおうちからトリック・オア・トリートで取ったお菓子を翌日のお弁当で味わえたことが、当時小学2年生の私にとって幸せそのものでした。

アメリカは10月、町がオレンジ色・黒色に彩られます。どこのショーウィンドウを見てもパンプキンや魔女、黒猫やミイラたちが31日の本番を待っています。日本のハロウィーンとアメリカのはほとんど変わらず、コスチュームとキャンディーがメインですが、ハロウィーンの由来は欧州のケルト族の収穫祭であり、アメリカではその影響も少し残っています。

収穫期のものを利用したパンプキンのパイ、リンゴの濃いジュース「アップル・サイダー」や、水をはった木のたるに浮かんでいるリンゴを口だけで取ろうとする遊びや、干草用荷馬車に乗って紅葉の花見をするなどが定番です。

ハロウィーンと言えば迷信的な面もあり、10月31日は幽霊の世界と人間の世界が一致する、不思議な夜だと言われていました。昔は魔法や占いの日でもあり、深夜の畑で取ったキャベツ類の葉っぱを分析することで将来の結婚相手の特徴が分かってくる迷信的な慣習などもありました。

迷信と言えば、少し暗いですが、ほぼ300年前、イギリスから移住した宗教信仰者は迷信家が多く、地域の数人を魔女だと告訴し、結果としてほぼ20人が「セイラム魔女裁判」で死刑となり殺されてしまったこともありました。恐ろしい実話ですが、アメリカの歴史の一部です。子供の時、家族旅行で行ったボストン市に近いセイラム市魔女裁判博物館で聞いたお話です。

お菓子の日？それとも幽霊の日？どれにしても、ハロウィーンが面白い祭典の一つなので、思いっきり楽しみましょう。西ノ島の皆さん、ハッピー ハロウィーン！

隠岐の文化財情報誌、新刊のご案内

隠岐の文化財第31号（島前の文化財通巻43号）を発刊しました。

〈目次〉

巻頭言／吉谷 進

道後の荒神信仰について(1)／村尾秀信

隠岐における明治期のキリスト教／西口 忠

隠岐国分寺発掘調査について／隠岐の島町教育委員会

隠岐世界ジオパークの誕生／野辺一寛

隠岐のイナゴ／林 成多

隠岐島前のニホンミツバチ／安達和良

ワケノカワヤナギを隠岐で発見／丹後重興

隠岐諸島新産の植物(7)マルバヤナギ／丹後重興

隠岐関連書籍（新刊紹介）／ 隠岐の島町図書館

『島前の文化財』・『隠岐の文化財』通巻第42号までの掲載内容

.....

島根県指定文化財 太刀 銘 来国光／田邑福太郎

異国船の警備「砲術方」に関する古文書解説

（海士町古文書クラブ）

3 1 61 57 55 48 42 37 33 26 15 1

※新刊、バックナンバー共に1,200円（税込）で実費販売（送料別）いたします。ぜひご購入下さい。詳しくは、西ノ島町教育委員会にお問い合わせ下さい。

TEL..08514・6・0171
FAX..08514・6・1028





インフルエンザ予防接種のお知らせ



インフルエンザとは…

インフルエンザにかかった人がくしゃみや咳などをしてすることによりウィルスが空気中に広がり、それを吸い込むことによって感染します。インフルエンザの流行は、毎年1月上旬～3月上旬が中心です。抵抗力の弱い乳幼児では脳炎や脳症を引き起こすことや、高齢者では肺炎を併発して重症化することがあります。

【接種回数】 13歳以上：1回（1回で良いとされています）

1歳以上13歳未満：2回（2回接種が望ましく、1回目と2回目は2～4週間あける）

【料 金】 一律 2,000円（2回目も同料金）

【接種場所と日程】

島前病院	浦郷診療所
10月29日（水） 11月12日（水） 11月26日（水） 12月10日（水） 12月24日（水） 1月 7日（水）	10月22日（水） 11月5日（水） 11月28日（金） 12月3日（水） 12月17日（水）
受付時間：午後1時30分～4時 接種時間：午後2時～4時	受付時間：午後2時～4時30分 接種時間：午後2時30分～4時30分 ※上記の予防接種の日は、午後の診察はありません

【申し込み方法】

*直接、希望する医療機関の窓口で申し込み手続きをしてください。《予診票と申込書（控え）をお渡しします》

【予約受付期間】

島前病院：10月2日（木）～10月17日（金）

浦郷診療所：10月2日（木）～10月17日（金）

午前9時～午後5時 平日のみ 浦郷診療所は月、木曜日も受付を行います。

注意

電話での受け付けはできません。

ご不明な点は、西ノ島町役場 健康福祉課（電話6-0104）までお問い合わせください。

地域おこし協力隊員の紹介

地域おこし協力隊とは、都市住民を地域の新たな担い手として受け入れ、特産品の開発や観光振興をメインにいろいろな分野で地域協力活動を行います。今回、新しく西ノ島町にて活動する協力隊員を紹介します。



かまだ しょうご
賀満田 将悟

出身 徳島県

趣味 ツーリング、まちあるき

『9月より地域おこし協力隊として活動しております。出身は徳島県ですが、大学から5年間大阪府に住んでいました。まずは、まちを知り、自分を知っていたために、西ノ島町のすべての地域でまちあるきをしようと考えています。背が高く細い人間がまちをうろうろしていれば、それは私です。』